

様式第3号

議 事 録

会議名	令和4年度川西市総合教育会議(第3回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年3月30日(木) 13時00分から13時59分		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、治部委員、佐々木委員、倉見委員	
	関係職員	石田総合政策部長、中西教育推進部長、山元こども未来部長、 飯田総合政策部副部長、岩脇教育推進部副部長、下内教育推進部参事、釜本こども未来部副部長	
	事務局	総合政策部政策創造課 野田課長、松永課長補佐、西寄主任、渡邊主事	
傍聴の可否	可	傍聴者数	4人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 教育大綱の策定について ① 教育大綱の策定イメージについて ② タウンミーティングの実施について (2) 報告事項について ① 校区に関する課題について ② 卒業式のあり方について (3) その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>皆さんこんにちは。お忙しい中お時間をとっていただきましてありがとうございます。 それではただいまより、令和4年度第3回川西市総合教育会議を開会いたします。 議事に入る前に事務局から、委員の出席状況等についてご報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、事務局よりご報告いたします。まず、総合教育会議の根拠でございます。 当会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づき設置された会議でございます。構成員は市長、教育長及び教育委員でございます。</p> <p>次に、本日の出席状況についてご案内いたします。当会議は定足数の規定はございませんが、出席対象者の皆様全員ご出席で、会議は有効に成立しておりますことをまずご報告いたします。このうち川西市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、倉見教育委員は、Web会議の方法により参加いただいております。</p> <p>なお、会議開始前に事務局が出席委員に対して、映像及び音声により委員本人であること、会場及び委員相互間で映像及び音声の即時総送信が適正に行われていることの2点について確認が取れていることを申し添えます。</p> <p>次に、会議の公開についてでございます。当会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、公開することとされており、傍聴を可としております。その運用は、川西市総合教育会議の会議公開に係る傍聴要領に基づいておりますが、このうち傍聴者にあつては、会議の撮影及び録音につきまして、同要領第5条の規定により禁止となっておりますのでご了承ください。</p> <p>なお、事務局におきましては、議事録調製のため、会議の内容を録音等させていただきますことをご了承願います。</p> <p>最後に、当会議の議事録についてでございます。議事録については、川西市総合教育会議運営要領第9条に基づき、公表することとしております。会議録調製後、遅滞なく市ホームページに公開することといたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。この点については特に問題ないかと思っておりますので、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>まず、両括弧「(1)教育大綱の策定について」についてのうち、「①教育大綱の策定イメージについて」を議題としたいと思います。</p> <p>すでに資料をお配りをさせていただいておりますが、その内容について事務局から説明を申し上げます。事務局よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、事務局よりご説明申し上げます。議題は「①教育大綱の策定イメージについて」でございます。</p> <p>資料、令和4年度第3回総合教育会議資料1、画面にも表示しておりますが、こちらのほうをご参照ください。</p> <p>教育大綱の策定イメージについてご説明いたします。</p> <p>まず、教育大綱のスタイルや内容につきましては、法律等によって定められたものがあるわけではございません。各自治体の判断に任されております。このような中で、教育大綱を取り巻く策定イメージにつきまして、資料の1ページ目にお示ししております。教育大綱では、教育の大きな</p>

発言者	発言内容等
	<p>方向性である基本理念や基本方針を示し、川西の教育で教育大綱の方向性を具体化する取り組みについてお示しするような形で策定したいと考えております。</p> <p>まず資料の上半分、上段になりますが、教育大綱についてでございます。こちらは市長部局と教育委員会による基本理念と基本方針を共有することを目的としております。また今回策定する教育大綱は、学校教育分野はもちろん、社会教育や文化、スポーツといった、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の理念に基づき、教育全般における基本理念及び教育方針を策定することとしております。</p> <p>なお教育振興基本計画は策定しませんが、教育大綱または川西の教育へ盛り込むことを想定しております。</p> <p>続きまして下半分になります。川西の教育についてでございます。教育委員会の所掌事務におきましては、川西の教育を活用いたします。これは教育大綱に基づき策定された内容を実現するため、各種事業を策定していくというふうなイメージを想定しているものでございます。</p> <p>説明は以上でございます。どうぞよろしくご協議のほどお願いいたします。</p>
市長	<p>過去からもちょっと議論させていただいておりますが、川西市の教育大綱が無いという状況ですが、教育大綱はご存知の通り、市長が策定をするというものになっております。</p> <p>ただ市長が策定するからといって、私が1人でつくるという意味ではなく、私の責任において策定をするということでご理解をいただきたいと思うんです。当然その策定については、教育委員の皆さんを初めとして、多くの皆さんとの対話やディスカッションを通じてつくらせていただきたい。その上で教育大綱が、どこの分野をイメージをするのかということが少なくともあって、総合教育会議としてはしっかりと共有をしていきたいということで、この上の部分と従来川西の教育のほうでしっかりと担っていただいて策定をしていただいた部分を分けた形で策定をしていきたい。ですので教育大綱のほうはこの上の部分、どちらかという和基本理念とか、その大きな方針ということをしっかり共有をしていきたいということで、つくりたいなと思っております。</p>
倉見委員	<p>こういった点につきましてそれも、これでいったらどうなのかというご提案というところありますので、皆様方からご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>なかなか計画づくりっていうのはつくってみたいと、そういうことだったのかということもあるかと思うんですが、この辺はすみません外部からで申し訳ありませんが、倉見委員から何か少しサジェスションやご意見なんかを頂戴できればと思いますがいかがでしょうか。</p>
市長	<p>結論から言いますが、これでよろしいのではないかと思います。すでに「川西の教育」というのがあります。これとの関係も整理されておりますので。</p> <p>この次の議題にもありますが、これから市民の皆様方の意見も聞いて、さらに子どもたちの意見も聞いて、良いものを策定していければと思います。以上です。</p>
佐々木委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>他の委員の皆様、ご意見等、ご質問等でも結構ですが、いかがでしょうか。</p> <p>佐々木委員お願いいたします。</p>
佐々木委員	<p>倉見委員と同じで、本当にいいんじゃないかなと思っています。独立した組織だということで、教育委員会で考えて、でも市長部局でも考えないといけないところをすり合わせていくってことはすごく大事だなと思っています。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>ありがとうございます。 治部委員お願いいたします。</p>
治部委員	<p>これからの子どもたちがどうやって生きていって考えたときに、今、国際政治的にも、経済成長的にも、雇用のあり方的にも不安定で、子どもの貧困問題もますますシビアになってきてると個人的には思っています。これから少子高齢化が止まらなさそうな感じがあり、これからの政治経済は大きな不確定さを抱えていくことになり、そういう全く予想がつかないような時代を生きていくためのスキル、自立に向けて子どもたちが何を学んでいくのかというのを真剣に考えます。</p> <p>そういうのを考えたときにこれからの教育が、文部科学省が定めている学習指導要領やカリキュラム、学校の先生たちに任せている指導の仕方等、こどもたちの生きていく力の支えになるために、私たちはどんな支援ができるのだろうかと常日頃に真剣に悩んでいるところです。この教育大綱が、この全く先の見えない、これからの時代を生きていく上での指針になるようなものになることを心から願います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。 それでは佐々木委員、よろしくお願いいたします。</p>
佐々木委員	<p>市長と教育委員会の役割分担、やっぱりとても重要で、大きなところを市長の部局に決めていただいて、それを実際実務に当たっているといいますか、現場をよく把握している教育委員会で、個別のプランをつくっていくっていう協働というんですかね、そういったことがこの教育大綱策定イメージでよく掴めると思います。</p> <p>先ほど治部委員のお話もありましたように生きていく力っていうところですけども、教育って何かを教えるって視点だけじゃなくて、生きていく力もそうなんですよね。加えて、こういうふうに教育って作り出してるんだよ、君たちにこういうふうに教育を提供するために大綱をつくって、具体的にはこういうふうな事業を行っているんだよ、というところを子どもたちに知ってもらおう。</p> <p>今後、日本を背負っていくとか、川西市を背負っていく彼らにそのプロセスを知ってもらおうという意味では、策定のプロセスの中に子どもたちも入ってもらおうというのは非常に良いことだと思っております。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。 最後に教育長お願いいたします。</p>
石田教育長	<p>失礼します。私のほうも教育大綱については市長と個別に協議をしながらこの原案を立てるわけですけど、大きく三つの意味があるかなあというふうに思っています。</p> <p>一つはやっぱり国の動きです。こども家庭庁が発足するというので、この国の動きを見据えたときに、今本当に教育だけで閉じている。そういう子ども施策でいいのかというところで考えると、やっぱり必要性が高まっているかなというふうに思っています。</p> <p>二つ目はこれと重なるんですが、今までも川西の教育教育委員会としての教育の理念については共有してきましたが、理念自体を教育委員会だけで作成することが本当に妥当なのかということですね。もちろん教育委員会としての独立性といいますか、そういうものは担保しつつ、これからの時代はやはり様々な分野で市長部局と共有することが必要になってくる。そうしたときに一つの大きな理念が必要になってくるんじゃないかなというふうに思っています。</p> <p>それから三つ目なんですけど、組織改編によってこども未来部、それから社会教育部門が市</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>長部局に移る中で、さらに協力をしていく必要がありますし、教育委員会としての意見を述べる機会が欲しいなというふうに思っています。</p> <p>そういった意味で、教育大綱で教育全般、保育全般をこう見ていくという、この3つの点で大綱の必要性というのは高まっていると感じています。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>これから策定するとなると、我々市長部局でもいろんな計画や、総合計画とかいろんなものをつくりませんが、大きく書きすぎると抽象的でわからないと言われて、細かく書くと全体感が見えない細かすぎると言われますので、キャッチボールをしていく中で、アクションプランのレベルなのか、教育大綱のレベルなのかというのは、いろんな摺り合わせをしていかなければいけないと思います。同じ方向を向いて策定をできればと思います。</p> <p>おそらくこれをしっかりとすることで、よりこの場所が、それぞれの進行管理をする部分、教育委員会側からもどちらかというこの総合教育会議の場所が、市長が教育委員会に物を言う場所みたいな雰囲気になってしまうんですけど、そうではなく、教育委員会委員の立場からも、市長部局に対して正式にもっとここはこう連携したいんだとか、こういうことがほしいんだということが言える場所で、それが教育大綱に基づいていると、これが一つの我々が共有するべき価値感なのかなと思っています。ここをしっかりと活かすという意味でも、ぜひ良いものをつくっていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>なお令和5年度中につくるという、少しタフなスケジュールリングになりますけども、どうかよろしくをお願いいたします。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「なし」の声あり。)</p>
市長	<p>それでは、この件につきましては終わらせていただきます。</p> <p>次に「②タウンミーティングの実施」について議題にしたいと思います。</p> <p>まず事務局より内容のご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。タウンミーティングの実施についてということで、引き続き先ほどの資料1の今度2ページ目のほうをご覧ください。画面のほうでも今、すでにお示ししております。こちらを基にご説明させていただきます。</p> <p>今回、教育大綱を策定するにあたりまして、市民の方や関係者の声をもらうことが重要であると考えておりますことから、その実施プロセスとして、2ページ及び、次の3ページのスキームで実施してまいりたいというふうに考えております。</p> <p>まず2ページ、左上に赤で「学校教育」と書いてありますが、学校教育分野における取組についてご説明いたします。こちらにおきましては、身近である、主に児童・生徒とその保護者の方を中心として、声のほうを集めてまいりたいというふうに考えております。</p> <p>流れといたしましては、学校生活に関係に関することですか、学校施設その他学校に関することなどに対して、アンケートを実施しまして、その回答内容から後に続く生徒さんとの対話ですか、タウンミーティングでのテーマを検討してまいりたいと考えております。資料内の真ん中のやや左側にありますテーマ例、こちらにつきましては、想定されるテーマの一例をお示ししている形になります。</p> <p>続いて中ほど、上段になりますが、6月ごろの開催を想定しておりますけれども、アンケートをも</p>

発言者	発言内容等
	<p>とに設定したテーマ等に沿いまして、生徒さんとの対話を実施してまいりたいと考えております。詳細は後の4シート目でご説明いたしますので後でご説明させていただきます。</p> <p>そしてその対話の後、6、7月頃になると思いますが、タウンミーティングのほうを実施したいと考えております。こちらにつきましても、後程ご説明させていただきます。</p> <p>続きまして、3シート目でございます。</p> <p>こちらにつきましては、左上緑色にございますように「学校教育以外」の分野における取り組みでございます。想定としましては、未就学の子どもの分野ですとか、社会教育、文化、スポーツといった、教育のうち学校教育以外の部分を想定しております。</p> <p>こちらにおきましては、すでに専門的な組織もあることから、各種団体の声をいただいたりですとか、すでに取り組みできた別の市民会議ですとか、かわにし Meeting といった、タウンミーティングのような取り組みを実施しておりますが、こちらのほうで集めた声っていうものを生かしたり、また my Groove かわにしといいまして、インターネット上での意見収集プラットフォームというものが本市ございますけれども、こちらを活用してオンライン上で声を集めたりできるものを活用したりして、各分野のエッセンスを集めまして、策定のほう図ってまいりたいというふうに考えております。</p> <p>続きまして、4シート目でございます。少し戻りまして恐縮ですが、学校教育分野におけますアンケート、生徒との対話そしてタウンミーティングのほうの詳細をご説明してまいります。</p> <p>まずアンケートの実施についてでございます。目的につきましては、学校に関することを対話タウンミーティング前に実施することで、児童・生徒さんの声を集めることとしまして、小学生、中学生のほうを対象に想定しております。</p> <p>実施方法におきましては、生徒、児童さんに配布しておりますタブレット等を活用しまして、選択式ないし自由回答で、設問を設定した質問に自由に答えていただくというふうなことを想定しております。そしてアンケート実施後につきましては、教育大綱といったところの参考にしていくというふうな内容でございます。</p> <p>続きまして、5シート目「生徒との対話」についてでございます。</p> <p>こちらにつきましては、生徒さんからありのままの声を集めること及び、これに続くタウンミーティングの参考とするため、実施したいと考えております。6月ごろから全中学校と養護学校の全8回を想定しております。</p> <p>対象につきましては中学生を想定しておりまして、開催規模としましては、全校生になるのか特定の学年になるのかといったところは、今後調整をいたします。</p> <p>開催方法としましては、市長、教育長、教育員が会場を訪問しまして対話する形式ということで、中学校を会場に想定しております。</p> <p>テーマにつきましては先ほども申し上げましたが、アンケートから抽出設定した内容を活用する形で進めてまいりたいというふうに思っております。当日は、アンケート結果を伝えたり、それを經由してテーマを示して投げかけていたり、そしてそのテーマに基づいて意見交換をしたりというふうなところで、忌憚のない自由な意見を交換出来たらなというふうに考えております。</p> <p>続いて最後のページになりますが、6ページ目でございます。</p> <p>タウンミーティングの実施でございます。こちらは総合教育会議の中で開催させていただきますが、目的につきましては教育大綱の策定に際して、保護者さんですとか生徒児童さんの意見聞いて、策定の参考とするためです。</p> <p>開催日程については、主に保護者の方もいらっしゃいますことから、土・日・祝日といったところを想定させていただき、各中学校区ごとの7回を想定しております。</p> <p>対象者につきましては、主に保護者の方を想定しておりますものの、どなたでも、地域の方でも参加のほうは可能というふうな形で、一定制限は設けない形で進めたいと思っております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>開催規模につきましては、定員は特に設ける考えはございませんが、概ね二、三十名を想定しているというふうなイメージでございます。</p> <p>開催方法につきましては、第一部でタウンミーティングということで、まずは先ほど申し上げましたテーマ等を参考にしながら、市長と対話をしていただくというふうな形で進めさせていただきます。そして後半の第二部で、今ここで行っておりますような、総合教育会議というふうな形で市長、教育長、教育委員というふうな形を予定しております。また、子どもの方とか保護者の方の傍聴、ご参加するというのも可能というふうな形で設定してまいりたいというふうに考えております。</p> <p>こちらにつきましては、皆さまの参加を募集する形になりますので、5月ごろから各自ホームページとか広報誌とかを活用した周知のほうに努めてまいりたいというふうに考えております。</p> <p>以上がタウンミーティングの策定のプロセス、タウンミーティングについてのご説明となります。よろしくご協議のほうよろしくお願いたします。</p>
市長	<p>説明ありがとうございます。策定のプロセスにおいてはできるだけ子どもたち、そして保護者、そういったところは直接お聞きをしたいなと思います。</p> <p>もちろん学校現場のいろんな声をお聞きをしながらということについては、教育委員会のほうで吸収をしていただくところはあると思うんですが、日頃意思決定に参加出来ない、特に子どもに関してはこども基本法も出来ましたし、やはり当事者として自分たちのことに対しては自分たちもしっかりと意思表示をしていく、意見表明をするという、そういったもののスタートにしていきたいなというふうには思っています。</p> <p>この点につきまして、少し多岐に渡りますが、ご意見やご質問等がございますでしょうか。坂本委員お願いします。</p>
坂本委員	<p>子どもたちの声を聞くっていうのは、私の中ではすごくうれしくてですね。やっぱり何かを提供するというときに、どうしてもよかれと思ってっていうことが多いんですけど、やっぱり当事者の子どもたちの声をやっぱりどんどん聞いていきたいなと思っているところです。</p> <p>なので、アンケートなんですけど、こちらである程度アンケートの内容を決めるのか、もしくは逆に子どもたちがこういうのをみんなに聞いてみたいということ、ピックアップしていくのか教えていただきたいです。</p>
市長	<p>今のご質問について、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>お答え申し上げます。アンケートにつきましては、現状、詳細のところまで詰めているという状況ではございませんが、教育委員会の学校の先生ですとか、そういうふうな普段から児童・生徒さんとの距離の近い方々にご相談させていただいて、設定する、教育委員会のほうのご協力を賜るような形で、設定していくというふうなイメージになろうかと思っております。</p> <p>最終的には、未定でございますので一案となりますが、以上でございます。</p>
市長	<p>確かにご提案のように、このアンケートを子どもと一緒につくったら素晴らしいんですけど、その子どもをどこからどうやってピックアップしていくのかということところが今ないです。</p> <p>おそらくこれからのこの議論の一つの大きな、教育大綱とは少し違う部分になるかもしれませんが、子どものその意見を聞くときにはどうやって聞いたらいいかということ、我々が聞く主体は誰に聞いたらいいんだということがまだないんだらうということだと思います。</p> <p>そんな仕組みについても子どもたちからどう思うみたいな投げかけが出来たらいいなとは思</p>

発言者	発言内容等
佐々木委員	<p>ます。ご提案としてつつ受け止めたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。佐々木委員、お願いいたします。</p> <p>タウンミーティングというか、子どもに意見を聞く、子どもが主体的に参加する場が自分たちが子どもの頃にはおよそなかったものなので、とても良い方に進んできているんだなということを感じておりました。</p> <p>ただ、子どもによってはその思いをバーツと伝えられる子もいれば、言いたいことはたくさんあるけれども、その表現する手段が制限されちゃう子どももいると思います。アンケートもそうですけれども、子どもの意見を取り入れる時にはそういったこともきちんと配慮して実施していけたらいいなというふうに思いました。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。非常に貴重なご意見だと思います。</p> <p>我々もタウンミーティングを各地でやりますが、最近でこそ少し苦しい状況をタウンミーティングでもお伝えいただく方がふえてきましたが、基本的にタウンミーティングに来られる方は、元気で、活動的で、前向きで、市に対してやってほしいことも自分たちでやりたいこともある方という状況です。これをどうやって本来拾うべき、我々が集めるべき声がどこにあるかというのは、しっかりご意見やアドバイスなんかアンケートをとる時にいただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。それでは、治部委員いかがでしょうか。</p>
治部委員	<p>今市長はじめ、皆さんがおっしゃったことと僕も同意見で、誰にどうやって意見をまとめていくっていうのがすごく重要なのかなと思ってます。能動的にアクティブな方以外から、どうやって意見を集めるか、そこが一つのキーかななんて思ってます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。そういった意味で、今回タウンミーティングだけではなく、中学生との対話をしたいというのは、そのやり方というのは学校との調整なのかなとは思っています。</p> <p>中の協議でも、生徒会を主体にしようかという話もありましたが、そうすると先ほどのお話じゃないですけど、学校に来れない子どもたちはそもそも生徒会に入って活動アクティブにしていけない方が多いでしょうから、その声聞こえないよねと。</p> <p>授業の一環で中学校と全校でやるかという、100人、200人を超える中学校で、そこで手を挙げる方なんていうのは、やっぱりアクティブな方が多いだろうとか。どこかのクラスをピックアップするのかとか、我々は今無作為抽出という形で、むしろあなたが当たりましたと、招待状を送ってくると、来てもらうという方法なんかもとっていますので。</p> <p>それは学校の中で授業の一環としてどういうふうにやるのか、カリキュラムの中でどうするのか、どこかのクラスをピックアップするのか、みたいなことはちょっと我々としても悩みながらやりたいなと思っていますし、当然その中でもやはり養護学校の方もしっかりと、当事者の方の意見もしっかりと聞けるような取り組みをしていきたいなと思っています。</p> <p>倉見委員いかがでしょうか。</p>
倉見委員	<p>皆さんが今おっしゃっていただいた通りかなと思います。</p> <p>子どもたちもそうでしょうし、保護者もそうだと思いますが、いろんな立場の人とか、いろんな状況の人がいると思いますので、偏らないように幅広く、そしてやはり本音を聞きたいといえますか、サイレントマジョリティーも踏まえて、どう考えているのかが分かるような形で。</p> <p>限界はあるだろうと思いますが、できるだけそういう方向でやっていくことが大事なことだと思います。</p>

発言者	発言内容等
<p>市長</p> <p>石田 教育 長</p>	<p>まずし、意味のあることだと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。教育長いかがでしょうか。</p> <p>かねてから教育委員会の中でもこういうお話は出ていたところですが。またタウンミーティングという形で、こういうことが開催されるというのは初めての試みなので、最初からというの難しいところも2点あります。</p> <p>1点は、タウンミーティングそのものの在り方にもあるかと思うんです。</p> <p>先ほど言いました、各個人が意見を発表するのはすごくいいことだと思うんですけども、例えば先ほど言ったなかなか声を出しにくい子であるとか、スポットが当たりにくい子どもの意見をいかに集約するかということにおいて、私は教育に携わる者として、子どもたち自身がそこに焦点を当てて意見を集約して、この会議に臨んでほしいというのが本音です。</p> <p>だから参加した人が自分の意見を言うだけじゃなくて、そこにいろんな意見を吸い上げて、その上で参加してもらえたらというのが一番の願いです。その方法についてはなかなか、実現難しいところもありますけど、もしできるのであれば、理念として持っていきたいということです。</p> <p>もう一つ、学校教育と学校教育以外という分け方にはなってるんですけど、実は保育もうちのほうではきちっと担当しているということで。やっぱこの保育、子どもたちはなかなか難しいかもしれませんが、保育に今携わっている保護者の方の意見をどの場面で吸い上げていくのか。学校教育のこういうタウンミーティングに参加していただく方法もありますし、さっきのシートでいきますとその他の団体の中で、幼児教育保育施設にもしかしたら絞った形ですか。そういうところでやはりその視点が落ちないように気をつけていきたいし、ご協議させていただきたいと、そういうふう考えております。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。テーマを絞ったほうが子どもたちにとっていいのか、そんなことも含めてしっかりと協議をしていきたいなと思います。</p> <p>ただこれが本当にうまく機能すれば、子どもたちにとってもシティズンシップ教育という位置付けもできると思いますし、何より子どもたちの意見がしっかりと反映出来た教育大綱ができるのではないかとこのように思っています。</p> <p>スケジュールを見る限り皆様方の夏の土曜日、日曜日は7校区ですとすると、土曜日、日曜日1回ずつしたら、1ヶ月全て土曜日、日曜日をいただくような状況になります。過去、私はタウンミーティングで1日3ヶ所ということをやりましたが、ないとは思いますが、少しこの6月、7月とお時間を頂戴しますが、どうかよろしく願いをいたします。</p> <p>ほかに、ご意見などはございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり。）</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、教育大綱については以上で終わりたいと思います。また今後皆さんと協議をしていきたいと思いますので、よろしく願いします。</p> <p>では次に「(2) 報告事項」です。</p> <p>「(2) 報告事項」のうち「①校区に関する課題について」、「②卒業式の在り方について」をまとめて議題としたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>教育委員会からご説明いただきたいと思います。</p>

発言者	発言内容等
中西教育 推進部長	<p>私のほうで説明させていただきます。</p> <p>まず「①校区に関する課題」として挙げられていました、距離の一番近い学校に行けない児童生徒がいる。こういった課題に対しまして、従来からある区域外就学希望制度、この制度は理由に応じて校区以外の学校に就学できる制度ではあるんですが、この制度を令和5年度から拡充することといたしました。</p> <p>具体的には、小学生の通学距離が短縮される場合は、校区外の隣接校への就学を可能とするということで対応を図るものです。ここまでは、前回の総合教育会議のほうで報告をさせていただきました。</p> <p>その後の経過としまして、在校生また新入生の家庭に周知を図りまして、5年度からこの拡充条件を利用して、指定校ではなくて距離が近い学校に就学する児童については17名申請いただいて就学いただくことになりました。これが①の報告でございます。</p> <p>次に、②の卒業式の在り方につきましては、中学校の卒業式の現行の日程が公立高校の受検の前日の日程になっておりまして、この受検が心配で卒業式に集中できないという声をいただいております。校長会との調整も含めまして日程の見直しを行いますということを前回の会議でお伝えしておりました。</p> <p>お配りしております資料の2、少し下のほうからになるんですが、まず、令和5年度の卒業式の日程のところにあります中学校につきましては、3月14日木曜日となっております。これはさらにその下にあります公立高等学校の受検日が3月12日。それからその合格発表が3月19日ということで、その受検日から合格発表までの間に卒業式を行おうとするものでございます。この日程決定のプロセスの一つが、上のほうにあります。</p> <p>学校生活に関する意識調査ということで、中学生の生徒と保護者の方にアンケート調査をとっております。その調査項目の一つで卒業式の日程を聞いておりまして、まず保護者の結果のほうなんですが、一番希望が多かったのが「受検の日の後から合格発表の前が良い」、これが49%で保護者としては一番多い結果です。一方、生徒のほうはかなり意見が分かれています、一番多いのが「合格発表の日より後が良い」、これが26%。次いで「わからない」が22%で、さらに「今より早いほうが良い」が19%。この辺が割と拮抗しておりました。</p> <p>まずこのアンケート結果につきましては、保護者のアンケート結果と5年度の日程は合致しているんですが、生徒のほうにおきましては、例えば一番希望が多かった「合格発表の日より後が良い」、こちらにつきましては、やはり合格しないという結果もありますので、これは少数かもしれないんですが、ここは配慮が必要だろうということですか、「今よりも早いほうが良い」につきましては、教育課程のほうが少しタイトになるということもありまして、公立高校の受検日から合格発表までの間に、卒業式を行う日程としたものでございます。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。この二つ校区の問題と卒業式の問題は以前も、私も保護者からもいろんな意見があるよということで問題提起をさせていただいて、ご協議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>特にアンケートをとっていただいたということは本当にありがたかったなと。ただ保護者意見と子どもの意見が正反対というか、一位と最下位ということで少し複雑な思いなんですが。ちなみに回答率とか、特に子どもたちは何年生ぐらいがお答えになられてるかとかってというのはわかりますか…。</p> <p>分かるわけではないですね。おそらく大人たちはリアリティーを持って想像ができるんでしょう。最後の時に合格発表の日より後が良いというのは、多くの子どもたちにとっては全部すっきりしてからの日がいいかなというふうに思うんでしょうけど、大人としては、1人でも2人でも泣きながら卒</p>

発言者	発言内容等
石田教育長	<p>業式に来ているというのはやっぱり避けたいという。</p> <p>ここは経験を持つてる大人として、少し判断をするべきで、ここだけは止めとくべきとかそういう判断も、当然聞いた上で多数決で決めるというものではないということなのかなとは思いました。</p> <p>この点についても意見等もありましたら。</p> <p>卒業式については前から保護者のほうからそういう要望がありました。また、教育委員の中からも、そういう意見が出ていただいていたので、アンケートをとるということで実施しました。</p> <p>アンケート内容について、今市長がおっしゃった通りですけども、やはり意見を聞くこと多数決で決めることはまた違いますので、まずただそうならなかったことについての理由はやっぱりきちっとアンケート等の対象者に返していかなければならないかなというふうに思っています。新年度にそういったものを教育長メッセージとして、発出したいなというふうに思っています。</p> <p>それからアンケートのパーセンテージなんですが、具体的な数字はちょっと持ってないんですけども、学校で実施した二つの中学校については回収率は当たり前ですけど高かったです。そうでない学校については、思った以上にやはり低かったです。非常に回答率が低かったです。</p> <p>この後ちょっとご相談しようとは思ったんです。このことについてはやっぱり私自身反省しないといけないなというふうに思っています。つまり子どもたち自身に教育課程についての当事者意識がない。そういう指導というか進め方をしていなかったということで、やはり自分たちの意見がどういう形にしる反映されたり、意見を出すことの大切さをやはりきちっと伝えるべきだったなあと。そういう視点もすごく大事だったかなというふうに思っています。</p> <p>今後こういうアンケートを年に1回ぐらい、タブレットが入りましたので取れるような形で行っていききたいなというふうに考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは校区の問題も含めて、倉見委員いかがでしょうか。</p>
倉見委員	<p>校区の問題は合理的な理由だけではなかなか解決しないところもあるでしょうから、地域の方とか関係者と相談して、妥当なところということで、今回少し広げたという形になったのだと思います。引き続き困っているところがないかどうか、継続してやれるところからやっていくということが大事だと思います。</p> <p>それと卒業式の件ですが、少し個人的な意見を申し上げて申し訳ないのですが、私はこのアンケートにありますように合格発表の日の後というのが、教育的にも意義があることではないかと思っています。落ちちゃった子どももいるじゃないか、みたいなことは確かにあると思いますが、そういうことも含めて、やはり友達がどういった進路を取って卒業していくのか、ということを受け止めるというか、そういうなかで卒業式を迎えるというのが、本来の在り方ではないかと私は個人的に思っています。</p> <p>落ちている子どもたちをどうするだとかということを経由にしているのが、本当の理由なのか。卒業式をこれまでも受験の前の日に行っていること自体も、本当の理由は何だったのかということもきちんと、ここでこれ以上申し上げませんが、私は川西市だけじゃなくて、その近辺の並びをそろえているところの自治体に言いたいというのが本音のところなんです。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。おそらく卒業式の日程というのは、私自身も中学生のときに確かに私は公立受けませんでしたので、みんなが明日受験やね、明後日受験やねという中で、私立合格</p>

発言者	発言内容等
坂本委員	<p>決まってる私は全然関係なかったという、何か不思議な日程だなと思った記憶があります。</p> <p>それが横並びであるとか、いろんな過去からの経緯があるというのは市長になって初めて気がついたというか、市民の方からご意見をいただいて、初めて議題になったのかなとは思っています。</p> <p>おそらく今教育委員会とか、校長会ではもう来年度の日程はこれで正式に決定ということでもありますので、一旦こういう形で進ませていただきたいなことだと思います。</p> <p>ただ倉見委員がおっしゃったように、いろんなご意見がございまして、そういう悲しい人も含めて包括して、じゃあみんなこれからこの将来をお互いまた何年後に会おうねっていうのが卒業式じゃないかという考えもおそらくあると思います。そこも含めて定期的にやはり、当事者の皆様のご意見をアンケートをとって終わりではなくて、引き続き終わった方たちにどういうふうな思いだったのかということなんかも、お聞きするような取組になればいいなとは思っています。</p> <p>いかがでしょうか、坂本委員。</p> <p>校区に関してはやっぱり近くで行ける方が増えたということで、すごくよかったなと思っています。こういうものだというふうに、何となく思ってたところが、声を上げて少しずつ良いほうに変わっていくっていうのは、良いきっかけだったなと思っています。</p> <p>卒業式に関しては、やはりこのアンケートで子どもの意見と保護者の意見が違うっていうところ、入学試験から合格発表までが1週間延びたので、卒業式をちゃんと合格発表後にするっていうのはなかなか難しいと思うんです。もうすぐ入学説明会もあるし。その子どもたちが見たときに、やっぱり自分たちの意見ってあんまり反映されなかったわっていうふうにいるかもしれないので、今こういう状況なんですよっていうのをしっかり説明していくのが大事だな、一緒に考えていくことが大事だなと思いました。</p> <p>いいきっかけになったと思います。ありがとうございます。</p>
市長	<p>それでは、佐々木委員お願いします。</p>
佐々木委員	<p>校区をそもそも設定するときに、何を考慮したのか。学校と学校が近くてそれぞれの端っこがすごく遠い場合とかもあるじゃないですか。何を考慮して決めたのかよく考えたことなかったなというのが一つ思ったので、安全に近くの学校に通えるところがあるのであれば、そちらに普通に行かせてあげたらいいのかなというふうに思いましたので、今回はすごくよかったなと思いました。</p> <p>卒業式は市長もおっしゃいましたが、多数決で決めるものでもないですし、それぞれがそれぞれの意見を持っているので本当答えはないとは思うんですね。今この場にいる私たちも多分持つてる思いが、全員違うと思うんですよ。私も市長と同じで公立を受けませんでしたので、入試学の入試の前日だって普通に授業出てっていうふうな形で。</p> <p>川西の子もそういう子もいるわけで、公立の試験がこうだからこうなんですっていう説明をされると、そうじゃない子は私達どうなのって思う方が出てくると思うんですね。だからいろんなことに配慮した結果、総合的に考えると、ここがよかったよねっていうような決め方が出来たらいいなと思いますし、今回は保護者の多数派のところになったんでしょうけれども、お子さんの中では一番少数派だったので、どう説明するのかというふうには残っております。</p>
市長	<p>ありがとうございます。特に今回この課題で校区の面はやはり、子どもの都合ではなく、むしろ地域のコミュニティの話であったり、自治会の話であったり、どちらかというところ過去の経緯で、大人の事情があったものを何とか子どもの都合でやっていただきたいという議論の中で、子ども</p>

発言者	発言内容等
	<p>ファーストで通学距離という最も合理的なもの一つの基軸に出来たのかなと思います。</p> <p>いろいろほかにも今回は想定してなかったけどこもそうじゃないかなということのご意見があると思いますので、こちらも定期的な見直しというか、実情に合っているのかということはずひ教育委員会のほうで議論をいただきたいと思います。</p> <p>卒業式の在り方については、本当にもっともっと大きな課題でなくてよかったなという、少し言葉が適切ではないのかもしれないんですけど、卒業式という比較的身近でかつ、その日程によって大きく市民生活だとか、人生がということではなく、そのときの気持ちの問題とかということでありましょうから。</p> <p>そういった問題でも、保護者と子どもと、もっと言うと我々の思いが違ったときに、どういうふうな前提で意思決定をするのかと。もし我々がここのアンケートで反省をするべきだとすると、どういった状況になったら変えるよとか、少し前提条件をつくったりとか、そういったことは今後必要ではないのかなと思います。</p> <p>ただ、何かをすると変えてほしい方と変えてほしくない方がいらっしゃいます。変えてほしくない方にとって、変わった場合の説明、変わってほしい方からすると、違う変わり方をした場合の説明。いずれにしてもなぜこういうことを大切にして決めたのかということ、また教育委員会のほうでしっかりと教育長のほうがしっかりとさせていただけるということですのでぜひお願いをしたいなと思います。</p> <p>あと、このことは保護者にはオープンになっているんですか。</p>
石田教育長	<p>まだ正式に保護者には発出していませんので、新年度に入った段階で報告させていただこうと思っています。</p>
市長	<p>事務局、どうぞ。</p>
中西教育推進部長	<p>意識調査の回答率等でございます。まず生徒、保護者とともに中学1年生、2年生、3年生を対象に実施しておりまして、回答率は生徒のほうが約30%でございます。保護者のほうは単純に回答数を生徒数で割りますと33%なんですけど、兄弟姉妹の関係がありますのでそこはちょっと正確には出ないところでございます。</p>
市長	<p>先ほど教育長自身も課題として挙げていただきましたけど、特に子どもたちの回答率というのは、できるだけ今度教育大綱をつくる上で、基本となったアンケートが実は回答率30%だったら子どもの意見を本当に聞いたといえるのかと、そこにかかってくると思いますので、またそこは一緒に工夫をさせていただきたいと思います。</p> <p>今日の議題のこの2件については、終わりたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>最後に「(3)その他」として、この際何かございませんか。</p> <p>教育長、どうぞ。</p>
石田教育長	<p>正式には教育委員会を経てからだと思ってるんですけど、ちょっと市長のほうにもお願いしたいというのは、実は来年度市長もご挨拶で話されていましたが、こども基本法が施行されます。</p> <p>先ほどアンケート的に回収率が30%であることをつらつら考えてみると、実は子ども自身が自分の人権であるとか、子どもの人権であるとか、参加についてとか、民主主義であるとか、そういうことについてきちっと時間をとってじっくり考えてる時間がなかったかなというふうに思ってます。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>これは教育課程に関することですので、学校現場と相談しながらではあるんですけど、川西市として、そういう子どもが自分自身の人権を考えるような、そういう学びの場をつくっていききたいというふうに個人的には思っています。</p> <p>もし許されるのであれば、本来市長部局から独立はしてるんですけど、子どもの人権オンブズパーソンの方々と協力しながら、そういう学びの場の構築に取り組んでいきたいと思います。もし今ご意見等あったらまたお聞かせいただけたらというふうに思っています。</p> <p>ちょっと教育委員にも正式にははかかっていませんので、教育委員会としてどうするかはまたご相談しながら、市長部局にもそういうご協力をご依頼する可能性があるということでお知りおきください。</p> <p>ありがとうございます。この件については、ご依頼いただきましたら市長部局として協力できること、特にいわゆる先ほどの主権者教育であったり、シチズンシップ教育と言われる分野というのは、市としても行政の形がどうなっているのかとか、市民の皆さんに一人一人に与えられた人権それは権利の部分が、どういうふうな権利があるのか。これは以前から佐々木委員なんかからも、社会に出たらいろんな法律で守られていることもよくわからないまま、困って相談に来られても、その前に色々な権利や助けがあるのにと。そういったところはなんかは、大人になるまでほったらかしにして、あとは自由に生きていきなさい、自分たちで学びなさいということになっています。それは社会教育の観点からもしっかりと連携をさせていただくことだと思います。また教育委員会のほうで具体化がありましたら市としても協力をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>その他ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり。）</p>
市長	<p>では、ないようですので以上で終了したいと思います。</p> <p>さて、今年度最後ということにもなりますが、実は担当しておりました総合政策部長の石田部長のほうで、今年度末、明日をもって部長職としては退任という、この部長職としてはというところの意味も含めて最後、御挨拶をいただければと思います。</p>
石田 総合政策部長	<p>総合政策部長の石田でございます。</p> <p>3年間、総合政策部長としてこの総合教育会議で、様々な教育に関わる課題を共有させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>先ほどの教育大綱、来年度から本格的に策定を進めるところですけど、実は市全体のまちづくりの基本的な計画である総合計画も、令和5年度本格化いたします。この中で、今回の第6次は、まず子どもが幸せになる、これを基本的なものにしております。</p> <p>ですから、教育大綱をこの総合計画と同じタイミングで策定することは、期せずしていいと思いますか、一番のこのベストなタイミングではないかなというふうに考えてございます。その前にお前やめるんかというのはありますけれど。私も実は市長公室という新たな部が出来ましたので、そこで参与という形で、様々な参画協働でありますとか、人権でありますとか、広報広聴、こういったところもこの市長公室になってまいります。側面からではございますけれど、関わって参りたいというふうに考えてございます。</p> <p>どうもお世話になりました。ありがとうございました。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>議事録に載せれるかどうかわかりませんがそこに部長室があるんですけど、部長室から出て秘書課長の隣に座るというイメージになりますので、ここに来ていただいたら、そこには石田さんが週に4日は座っていただいているということになりますので、またどうかよろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、これもちまして令和4年度第3回総合教育会議を閉会いたしたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>